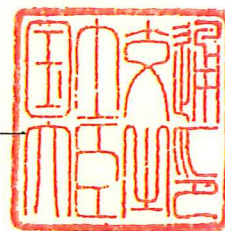


認定書

国住指第 3452 号
平成 29 年 2 月 8 日

株式会社クボタケミックス
代表取締役社長 田畑 勝治 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060FL-0897
2. 認定をした構造方法等の名称
給・排水管／モルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別 添)

1. 構造名

給・排水管／モルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

2. 寸法および形状等

(寸法単位：mm)

項 目		仕 様
開 口 部	形状	円形
	面積	0.0531m ² 以下（φ260 以下）
占 積 率 (開口面積に対する給・排水管の貫通面積の割合)		44.9%以下（直管） 51.6%以下（管継手）
貫通する床の構造等		(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)ALC パネル (2)鉄筋コンクリート ・厚さ 100 以上

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項 目		仕 様
給水管 ・ 排水管	直管	・材質 黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管 (ただし、外径及び厚さは JIS K 6741 に規定する寸法) ・外径 φ165_{±0.5} 以下 ・厚さ 9.6_{±0.7} 以下 ・組成 (質量%)
	管継手	・材質 混入硬質ポリ塩化ビニル管継手 (ただし、受口外径及び厚さは JIS K 6739 に規定する寸法) ・受口外径 φ177.1 以下 ・厚さ 5.6 以下 ・組成 (質量%)
充てん材		・材質 セメントモルタル ・厚さ 100 以上 ・組成 (質量%) - 普通ポルトランドセメント 25 - 砂 75 ・充てん量 隙間を密に充てん

2) 副構成材料

項 目	仕 様
接着剤	・材質 塩化ビニル・酢酸ビニル共重合樹脂系 ・塗布量 30g/1箇所あたり ・使用箇所 直管と管継手の接続部

3) 施工

項 目	仕 様
配管	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)直管のみ (2)直管＋管継手（管継手が床に埋まっている仕様） (3)直観＋管継手（管継手が床の上にある仕様）

4. 構造説明図

(寸法単位：mm)

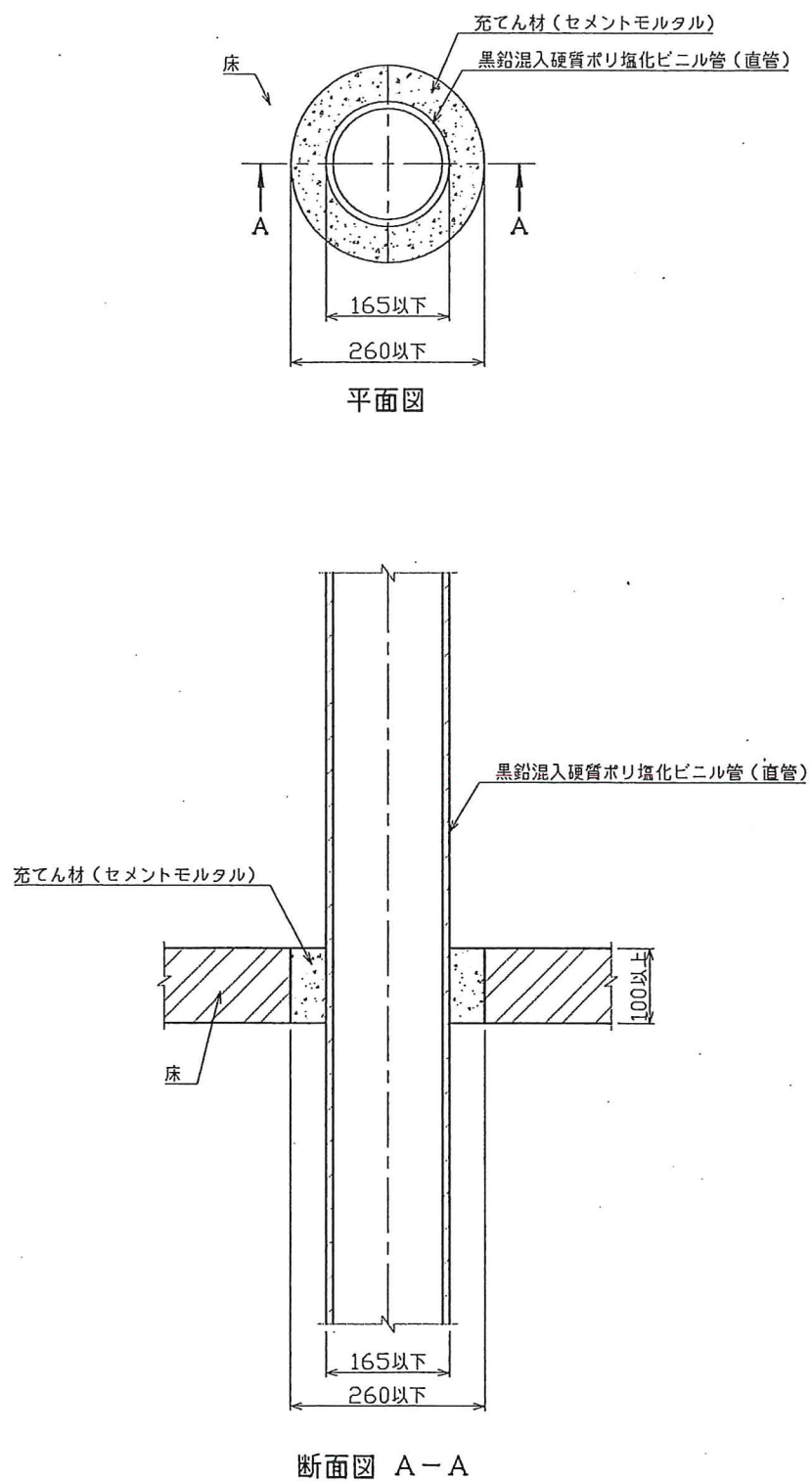
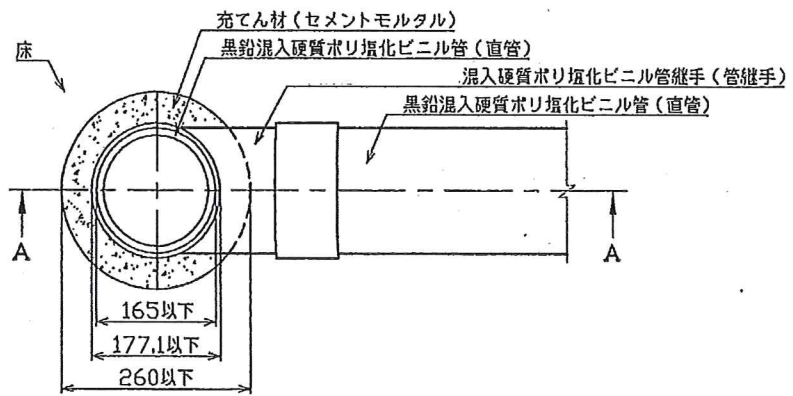
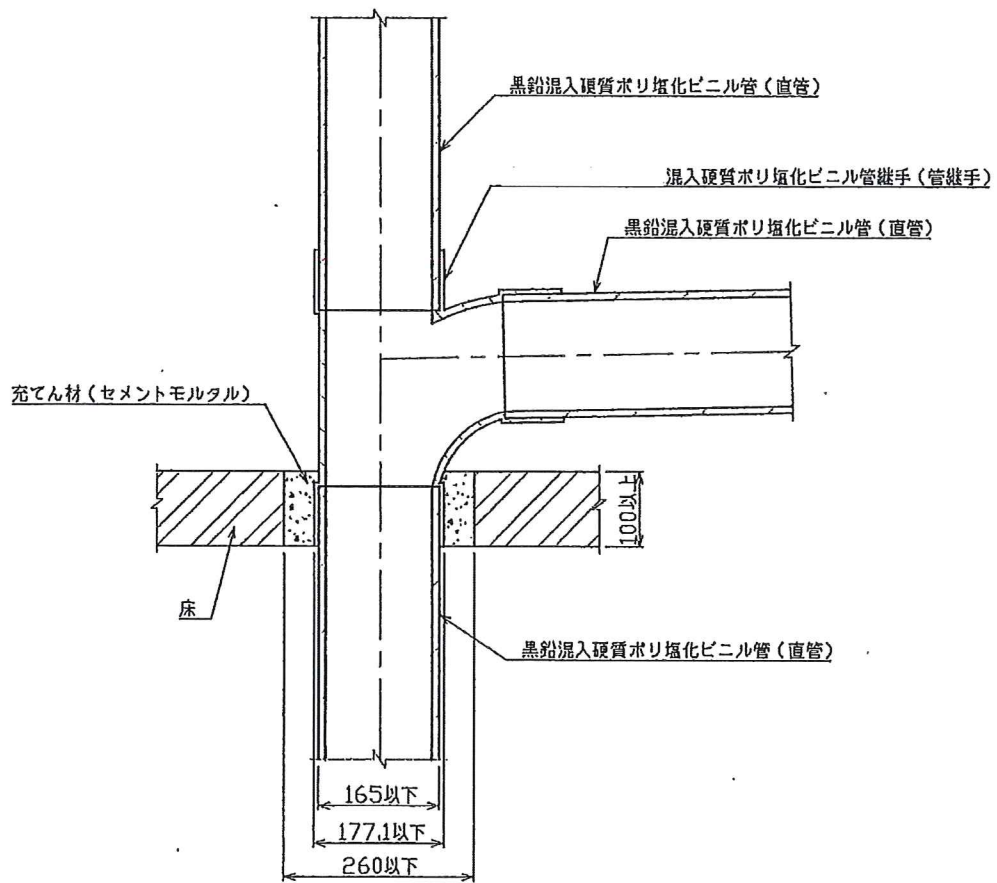


図1 構造説明図 (直管のみの場合)

(寸法単位：mm)



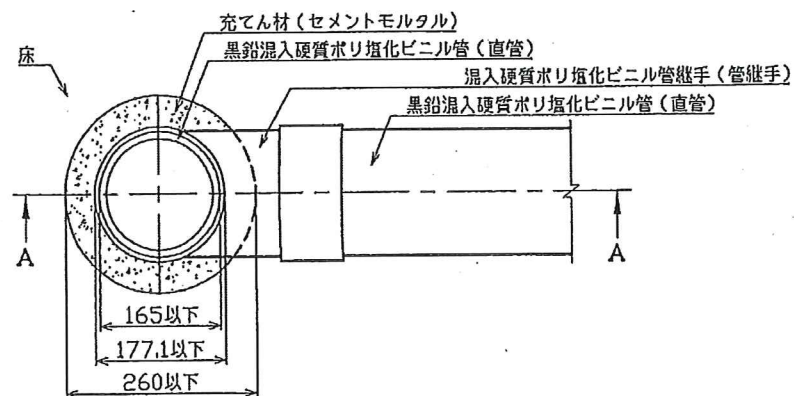
平面図



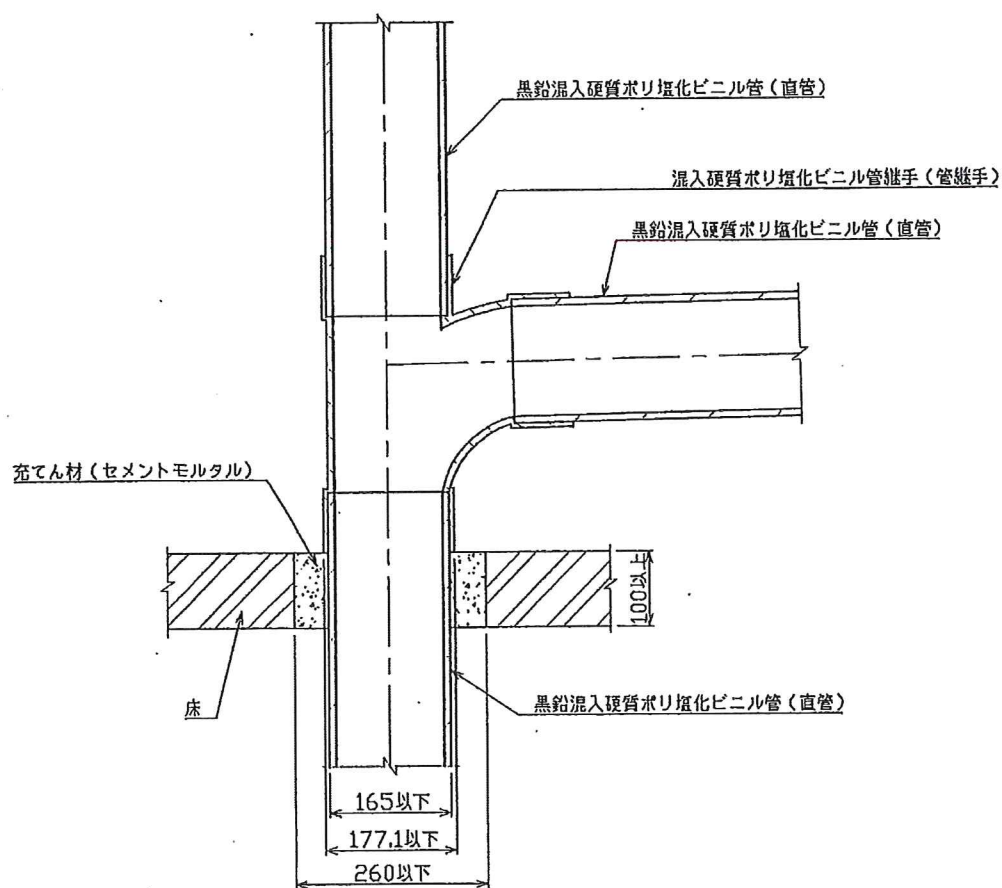
断面図 A-A

図2 構造説明図 (直管+管継手で管継手が床に埋まっている仕様)

(寸法単位：mm)



平面図



断面図 A-A

図3 構造説明図(直管+管継手で管継手が床の上にある仕様)

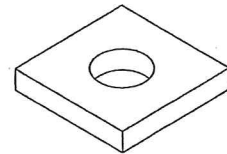
5. 施工方法等

施工手順及び施工図を以下に示す。

5-1. 直管のみの場合

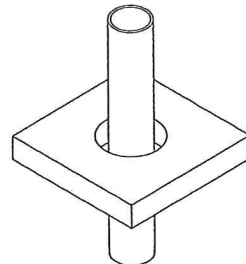
①開口部の確認

開口部の開口面積、占積率、床の仕様、床の厚さ等が申請仕様に適していることを確認する。



②配管の設置

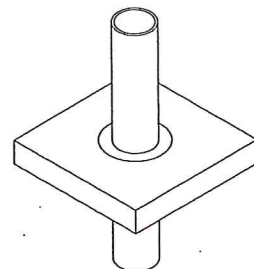
直管を所定の位置になるように設置する。



③開口部の埋め戻し

開口部と配管の隙間に、充てん材（セメントモルタル）を密に充てんする。

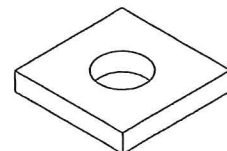
なお、開口部の下部に板等を用いて仮押さえし、セメントモルタルを充てんする場合、セメントモルタル硬化後、板等を取り除き隙間のないことを確認する。



5-2. 直管＋管継手（管継手が床に埋まっている仕様）

①開口部の確認

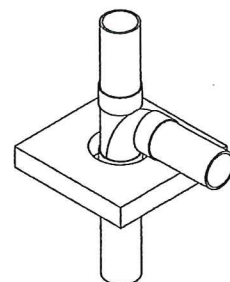
開口部の開口面積、占積率、床の仕様、床の厚さ等が申請仕様に適していることを確認する。



②配管の設置

直管および管継手を所定の位置になるように設置する。

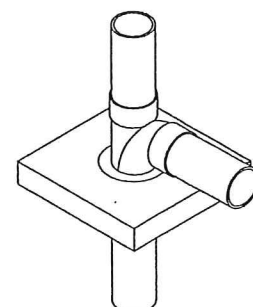
直管と管継手は接着剤で接合する。



③開口部の埋め戻し

開口部と配管の隙間に、充てん材（セメントモルタル）を密に充てんする。

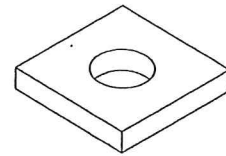
なお、開口部の下部に板等を用いて仮押さえし、セメントモルタルを充てんする場合、セメントモルタル硬化後、板等を取り除き隙間のないことを確認する。



5-3. 直管＋管継手（管継手が床の上にある仕様）

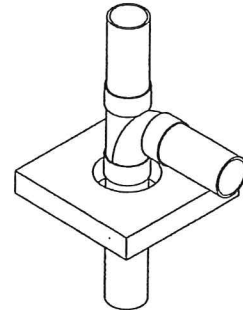
①開口部の確認

開口部の開口面積、占積率、床の仕様、床の厚さ等が申請仕様に適していることを確認する。



②配管の設置

直管および管継手を所定の位置になるように設置する。
直管と管継手は接着剤で接合する。



③開口部の埋め戻し

開口部と配管の隙間に、充填材（セメントモルタル）を密に充填する。

なお、開口部の下部に板等を用いて仮押さえし、セメントモルタルを充填する場合、セメントモルタル硬化後、板等を取り除き隙間のないことを確認する。

